

令和3年度第2回学校運営協議会の会議録を掲載します。
今回は、尾道市立長江小学校 土井尚美校長先生をお招きし、「小学校から見た尾道北高校に期待すること」と題して、お話をいただき、前半の協議を行いました。



学校運営協議会の様子1



学校運営協議会の様子2

広島県立尾道北高等学校 令和3年度第2回学校運営協議会 会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和3年10月19日(火) 15:00~16:45	開催場所	尾道北高等学校 会議室										
出席委員	<p>出席委員人数：9人 委員氏名(役職)</p> <table border="0"> <tr> <td>砂田 勝彦(元尾道北高等学校長)</td> <td>林原 慎(福山市立大学教育学部教授)</td> </tr> <tr> <td>山北 篤(本校同窓会長)</td> <td>清玄 智文(尾道市政策企画課長)</td> </tr> <tr> <td>井上 一男(栗原中学校校長)</td> <td>小原 正啓(長江中学校校長)</td> </tr> <tr> <td>吉浦 史貴(本校PTA会長)</td> <td>瀬戸 務(本校PTA顧問)</td> </tr> <tr> <td>藤本 秀穂(尾道北高等学校長)</td> <td></td> </tr> </table> <p><本校教職員：18人></p>			砂田 勝彦(元尾道北高等学校長)	林原 慎(福山市立大学教育学部教授)	山北 篤(本校同窓会長)	清玄 智文(尾道市政策企画課長)	井上 一男(栗原中学校校長)	小原 正啓(長江中学校校長)	吉浦 史貴(本校PTA会長)	瀬戸 務(本校PTA顧問)	藤本 秀穂(尾道北高等学校長)	
砂田 勝彦(元尾道北高等学校長)	林原 慎(福山市立大学教育学部教授)												
山北 篤(本校同窓会長)	清玄 智文(尾道市政策企画課長)												
井上 一男(栗原中学校校長)	小原 正啓(長江中学校校長)												
吉浦 史貴(本校PTA会長)	瀬戸 務(本校PTA顧問)												
藤本 秀穂(尾道北高等学校長)													
会議の概要	<p>1 開会行事 (1) 会長挨拶 (2) 校長挨拶 体育祭とオープンスクールの報告</p> <p>2 議題「本校の学びと地域との関わり」 尾道市立長江小学校 校長 土井尚美 先生 (別紙)「小学校から見た尾道北高校に期待すること」 ～地域における学校の役割について～</p> <p>○協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長江通りの自転車のマナーについて、生徒自らが安全に通行できる方法を、近隣の中学校と協議してみようか。(吉浦) ・リモート授業を中学校へも配信しようか。(吉浦) ・地域の問題について小・中学校と交流していく場を設けたいと考える。(北風) ・中学校としても前向きに考えたい。(小原) ・化学はリモート配信を準備中である。次年度は課題研究の成果発表会を中学校へ配信したい。分かり易く伝えることも学びと捉えて、小6生にも伝えられる様な取組みも考えたい。(坂本) ・自転車の通学マナーは高校生だけの問題ではない。違法駐車など大人の問題でもある。これらも含めて、近隣中学校や小学校と連携して発信できれば、どちらにとっても効果がある。(吉浦) ・保護者送迎の方法に変更があったのか。(瀬戸) ・11月1日から保護者送迎は原則禁止である。元の状態に戻ったということである。(前田) ・保護者送迎の原則禁止については、元の状態に戻すということである。また、地域に迷惑をかけないという観点からも必要である。何か他から意見があるのだろうか。(藤本) ・保護者送迎の禁止について、何か他から意見があったということではなく、そのような情報があるという事実を確認したまでである。(瀬戸) ・通学路については、学校だけの指導では難しいのが現状である。地域の協力が必要である。(校長) ・北高生に期待することとして、「あこがれる姿」とあるが、高校生には酷なことと考える。高校時代にリーダーとしての資質を高め、大学から社会人として地元に戻った時にリーダー性を発揮してもらえればと思う。長いビジョンでもってリーダーを育てるということ。(林原) ・長江通りの車の規制を優先的に考えるべきである。(山北) ・生活道路となっている長江通りの裏通りの通行マナーが特に問題である。(吉浦) 												

- ・北高はブランド名が高い。地域の期待は分かるが、リーダー性を生徒にそこまで押し付ける必要はない。北高生の自転車のマナーは良いと思う。(清玄)
- ・長江口交差点に自転車の長い列ができる。車が追い抜けないので、苦情がでるのではないかと。北高生の自転車のマナーは以前と比べて良くなっている。(井上)
- ・生活道路となっている裏道の交通指導は必要である。(清玄)
- ・生活道路の通行を禁止することは、長江通りの交通量を増やしてしまうため、問題の解決にはならないと考える。学校でも指導するが、地域の協力をお願いしたい。(北風)

3 中間評価について (司会：副会長)

令和3年度自己評価シート (中間評価) 様式2の報告 (松原)

チューター制の取り組み中間報告 (北風)

I C Tの活用についての中間報告 (坂本)

○協議

- ・北高の体育祭は見学させてもらっている。本校の生徒 (中学生) は魅力を感じ、志願する。北高におけるチューター制 (異学年交流) は良いと思う。ぜひこの魅力を中学生にも伝えてほしい。(井上)
- ・本日授業を見学したが、デジタルとアナログを交えたハイブリットな授業が印象的であった。本校卒業生 (中学生) は北高は学習が大変だが、とても充実していると言っている。(小原)
- ・メタモジはI C Tツールであるが、手書き等のアナログ感があってよい。授業で積極的に使用してほしい。(吉浦)
- ・時代の変化を感じる。研修の必要性を感じる。(瀬戸)
- ・本校のデジタル化は水面下でかなり進んでいる。(藤本)
- ・豊かな生活のためのDX政策は進んでいるが、「書く」とか「調べる」などの学習も大切であることを忘れずに。(清玄)
- ・チューター制が着実に浸透してきている。今後も相違工夫し定着を進めてほしい。I C Tなど学習環境が変化することに伴い、指導者のスキル向上が大きく生徒の学びに作用する。研修の在り方も含め、リーダー校としての役割を期待している。また、志願する中学生の確保も重要な問題である。近隣の私学の戦略にも目を向け、避けられぬ人口減をどう対応していくか、本校としての教育理念 (不易の部分) と時代に対応した部分とでのトータルの教育活動をどう理解してもらうかが必要と考える。(砂田)
- ・オープンスクールのP T A座談会には福山地域から多くの保護者が参加していた。積極的に北高の魅力をアピールしてほしい。(瀬戸)

4 閉会行事

副会長挨拶

チューター制のスキルは大学で活かせる。コロナをネガティブなものとして捉えず、先生が前向きに新しいチャレンジへの機会となると考えており、良いと思った。現状をどうしていくかをこどもたち自身で考えさせる必要があり、教育の本質的な部分である。

連絡事項

- ・本校公開研究授業について
- ・尾道市長による講演会について
- ・評価シートの提出について